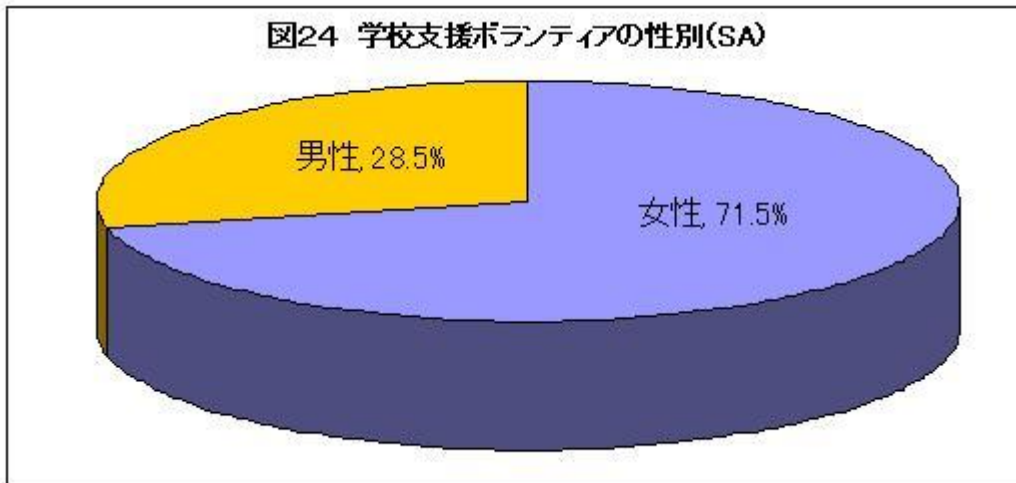


## Ⅱ アンケート調査結果

### 2 学校支援ボランティアの調査結果

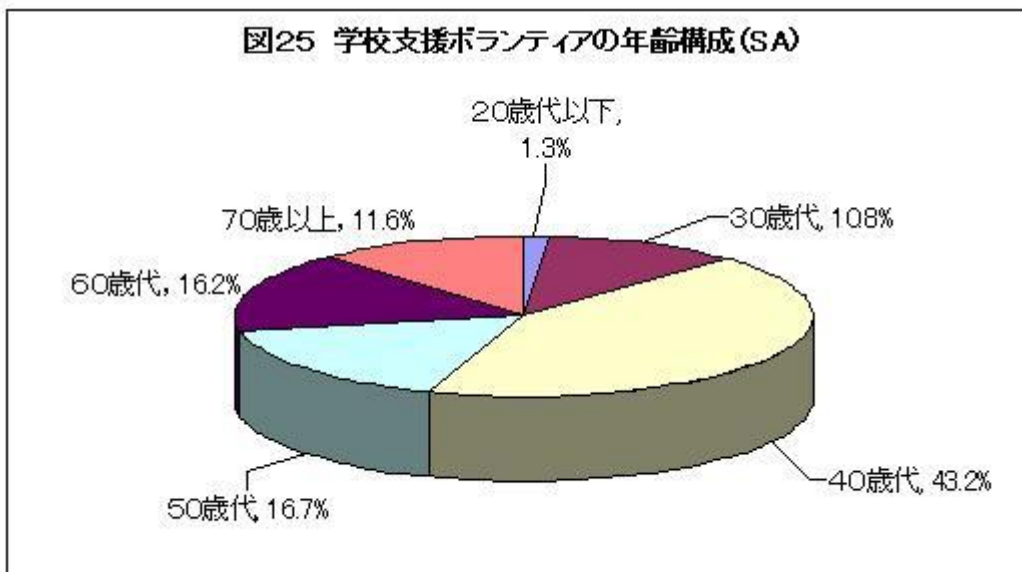
問1 ご自身のことについてお伺いします。

#### 1 性別



性別は、「女性」が71.5%と全体の7割を占めている。男性は28.5%である。

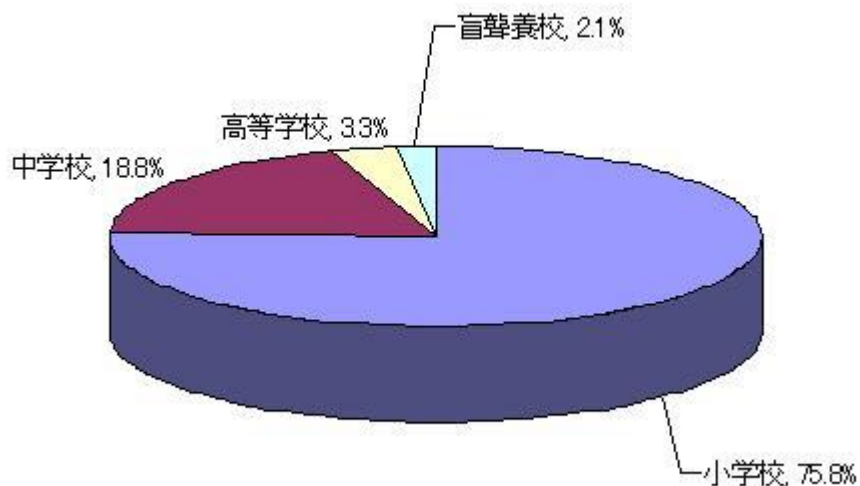
#### 2 年齢



年齢構成は、「40歳代」が最も多く43.2%である。次いで、「50歳代」(16.7%)、「60歳代」(16.2%)、「70歳以上」(11.6%)の順に多い。

#### 3 この調査票をもらった学校の種類はなんですか。

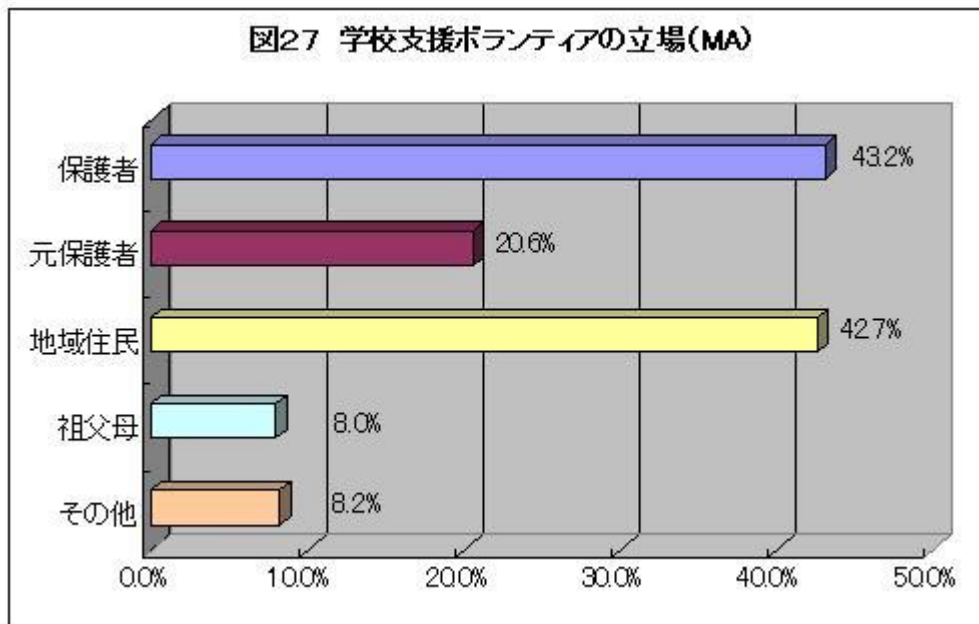
図26 学校支援ボランティアが活動する学校(SA)



活動する学校は、「小学校」が75.8%と最も多く、次いで、「中学校」(18.8%)、「高等学校」(3.3%)、「盲聾養護学校」(2.1%)の順になっている。

4 あなたは次のどれにあてはまりますか。

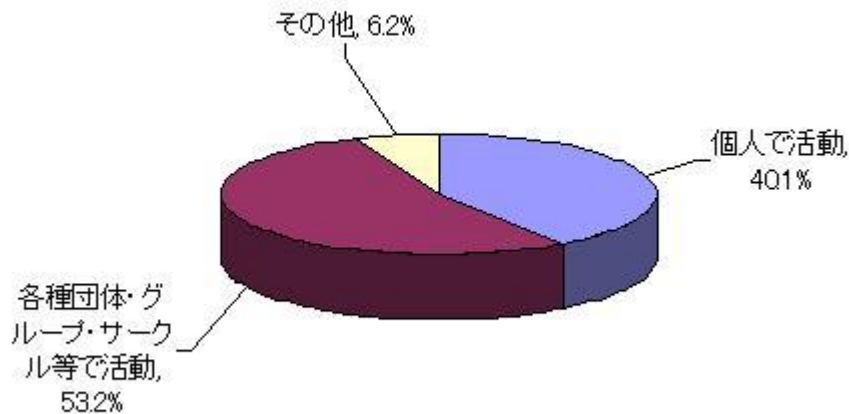
図27 学校支援ボランティアの立場(MA)



立場は、「保護者」(43.2%)、「地域住民」(42.7%)の割合が高い。「その他」の内容は、元教員、元地域住民、学生などである。

5 主な活動形態はどれですか。

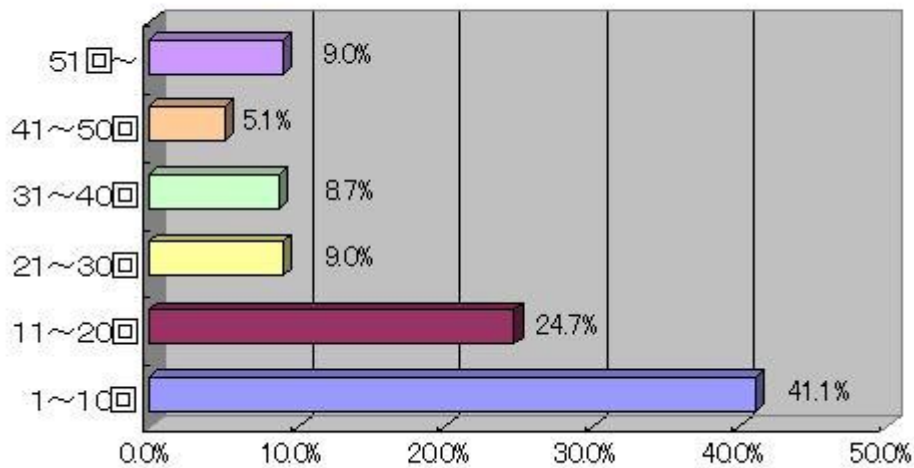
図28 学校ボランティアの活動形態(SA)



活動形態は、「各種団体・グループ・サークル等で活動」が53.2%と約半数を占めている。「個人で活動」は40.1%である。

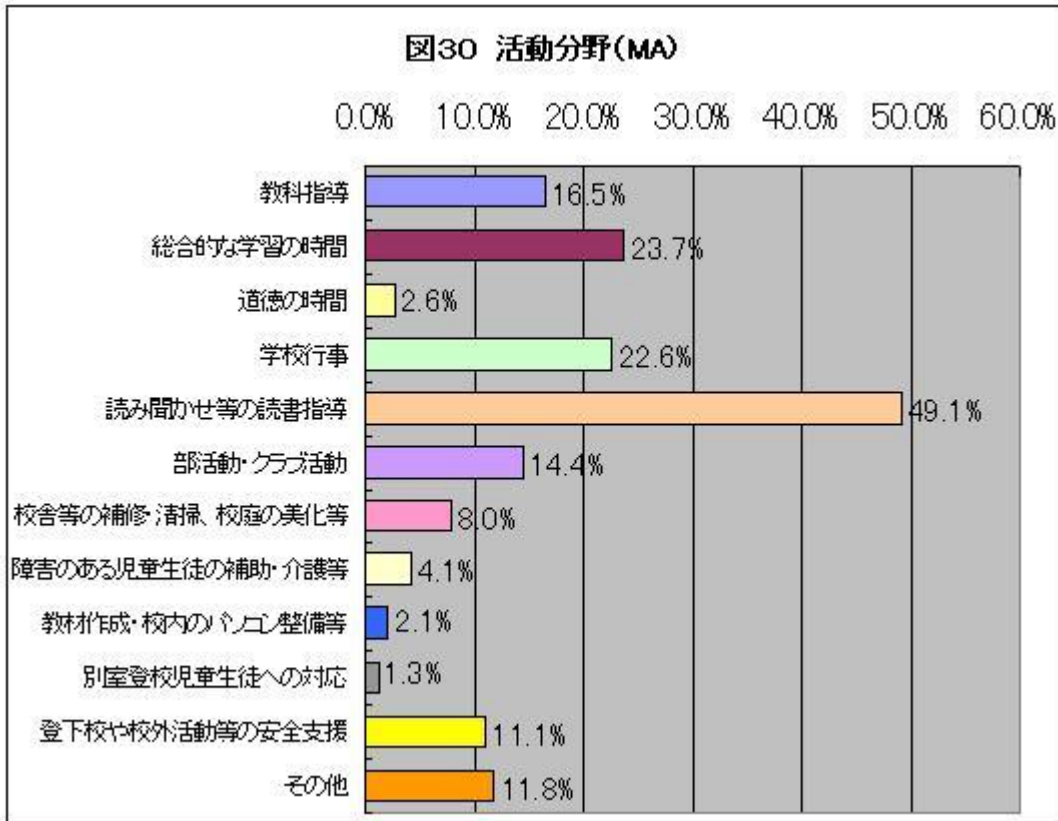
問2 昨年度(平成16年度)、およそ何回活動しましたか。

図29 平成16年度活動実績(SA)



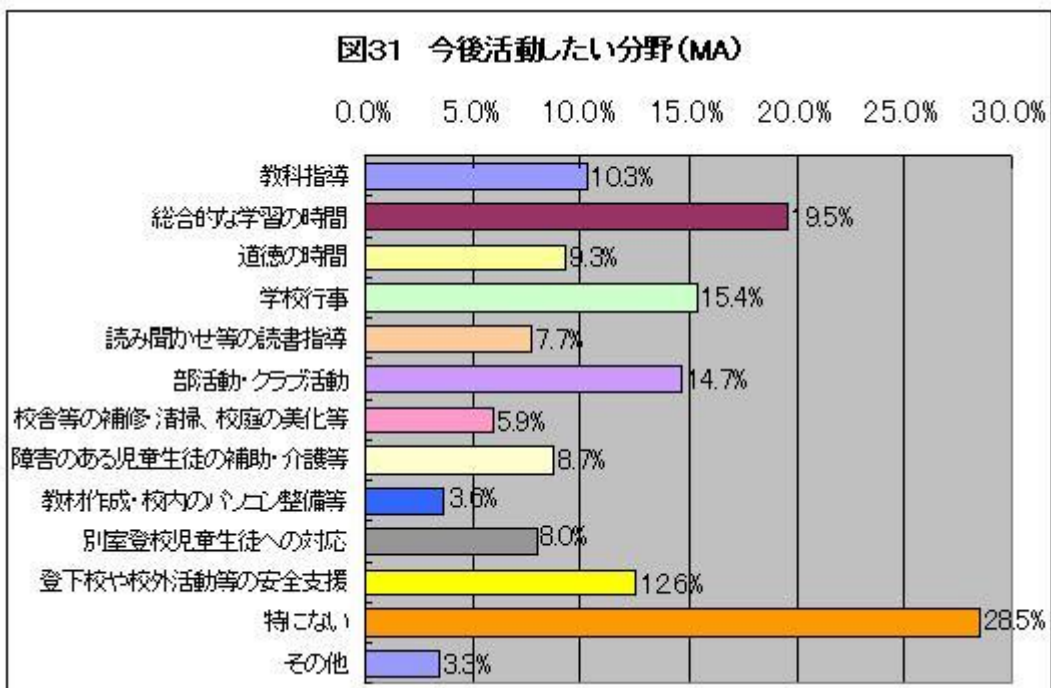
平成16年度の活動実績は、「1~10回」が41.1%と一番多く、全体の約4割を占めている。次いで「11~20回」(24.7%)、「21~30回」「51回~」(9.0%)となっている。

問3 どのような分野で活動していますか



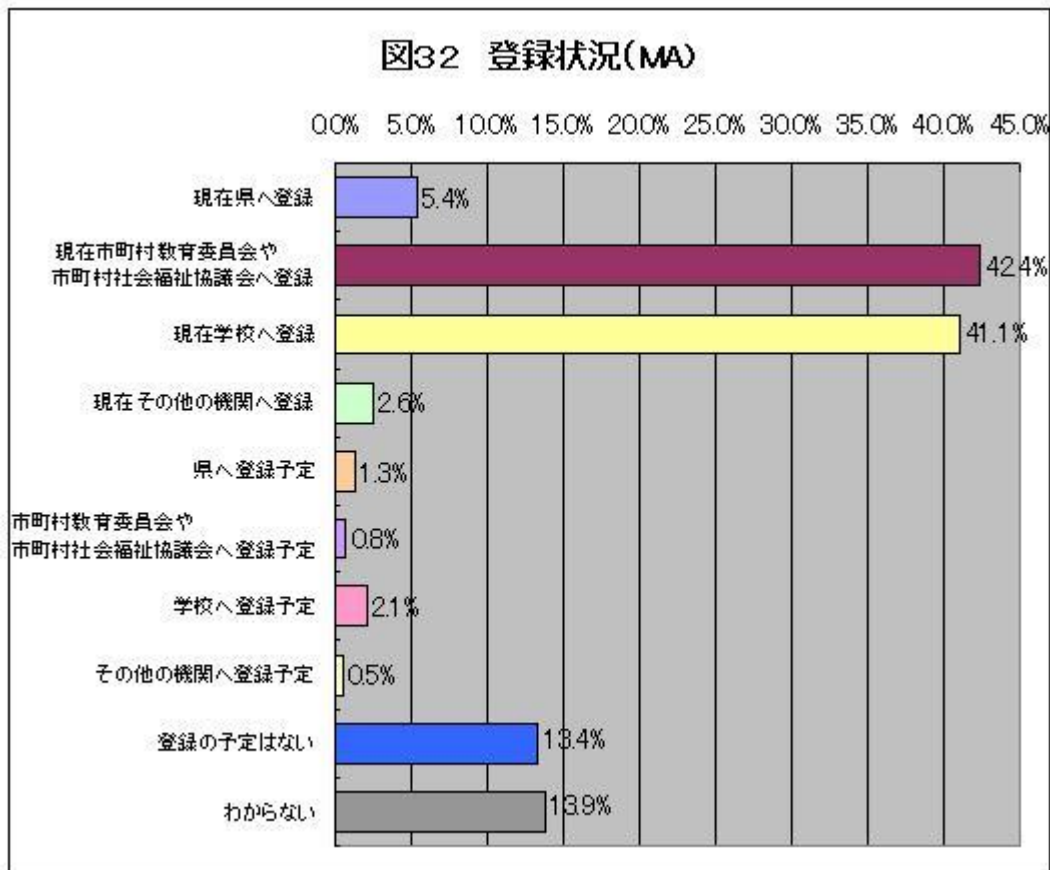
活動分野は、「読み聞かせ等の読書指導」が49.1%と最も多く、全体の約半数を占める。次いで、「総合的な学習の時間」(23.7%)、「学校行事」(22.6%)、「教科指導」(16.5%)の順に多い。

問4 現在は活動していないが、今後、ぜひ活動したい分野がありますか。



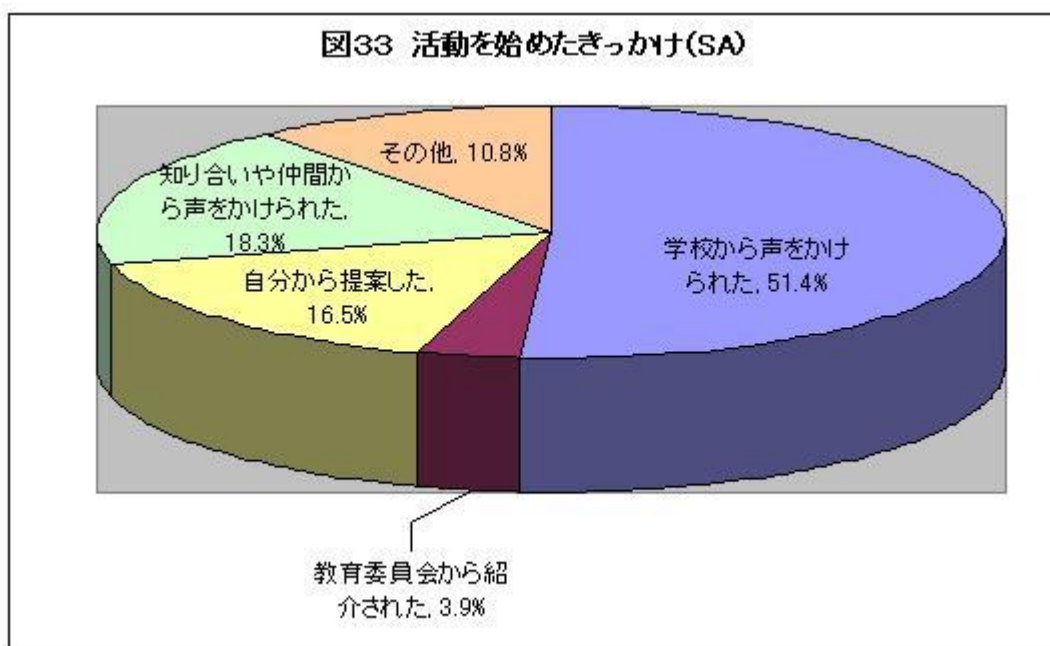
今後活動したい分野は、「総合的な学習の時間」(19.5%)、「学校行事」(15.4%)、「部活動・クラブ活動」(14.7%)の順に多い。一方、28.5%が「特になし」と回答している。

問5 県や市町村、学校等のボランティアバンク（ボランティアリスト）への登録はどのような状況ですか。



登録状況は、「現在市町村教育委員会や市町村社会福祉協議会へ登録」（42.4%）、「現在学校へ登録」（41.1%）がそれぞれ高い割合を占めている。

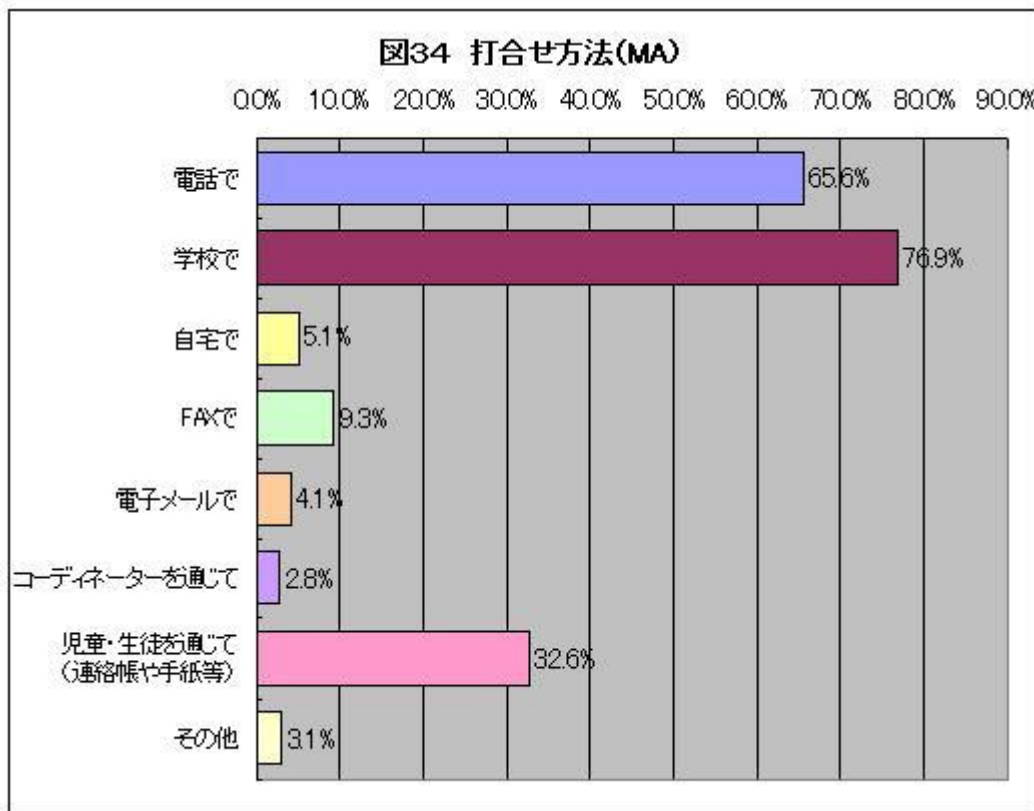
問6 学校支援ボランティアを始めたのはどのようなきっかけからですか。



活動をはじめたきっかけは、「学校から声をかけられた」（51.4%）が一番多く、全体の約半数を超える。次

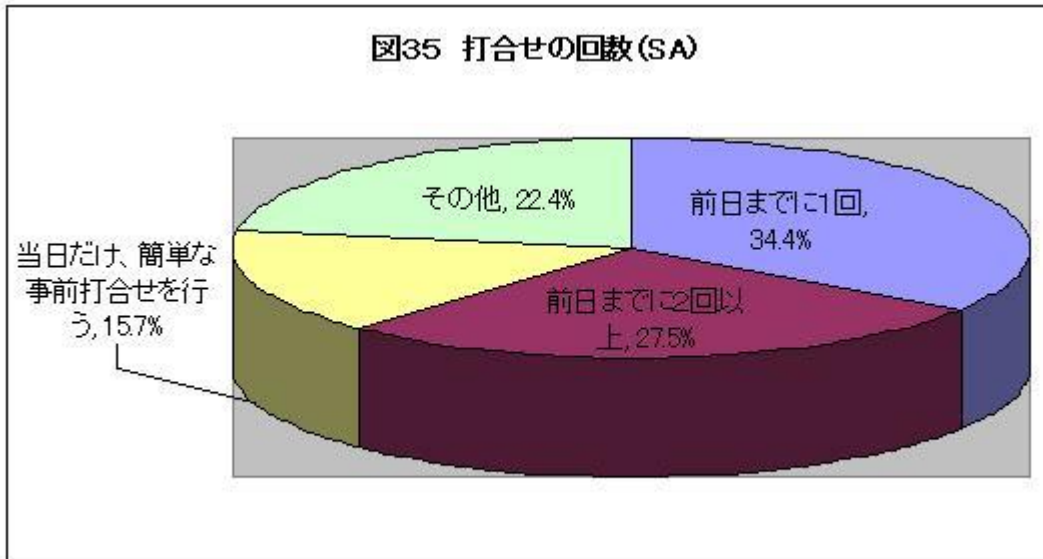
いで、「知り合いや仲間から声をかけられた」（18.3%）、「自分から提案した」（16.5%）の順である。

問7 どのような方法で学校と打合せをしていますか。



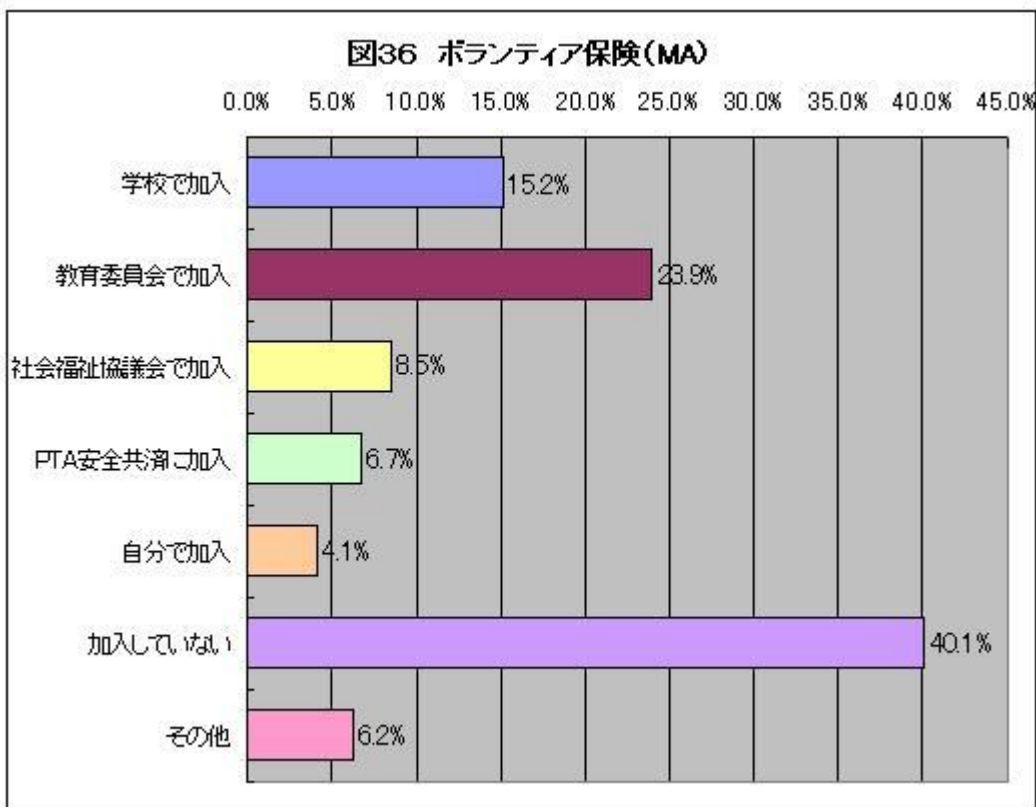
打合せ方法は、「学校で」が76.9%と最も多い。次いで「電話で」（65.6%）、「児童・生徒を通じて（連絡帳や手紙等）」（32.6%）、「FAXで」（9.3%）の順になっている。

問8 学校との打合せはおよそ何回くらい行っていますか。



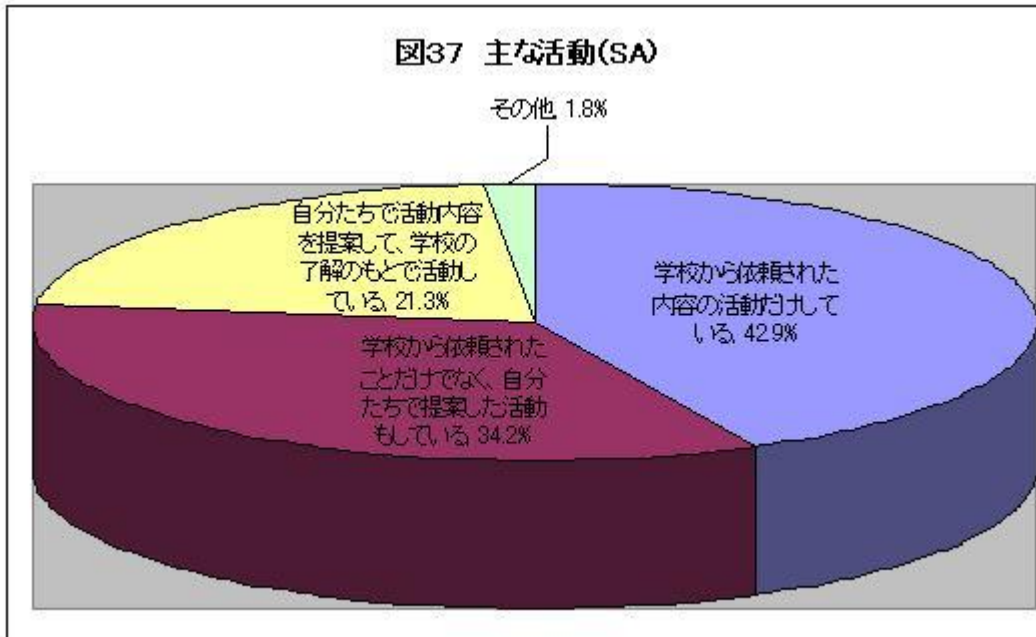
打合せの回数は、「前日までに1回」(34.4%)が最も多い。次いで「前日までに2回以上」(27.5%)、「当日だけ簡単な事前打合せを行う」(15.7%)となっている。「その他」の内容は毎月1回、各学期に1回、必要に応じてなどである。

問9 ボランティア保険はどこに加入していますか。



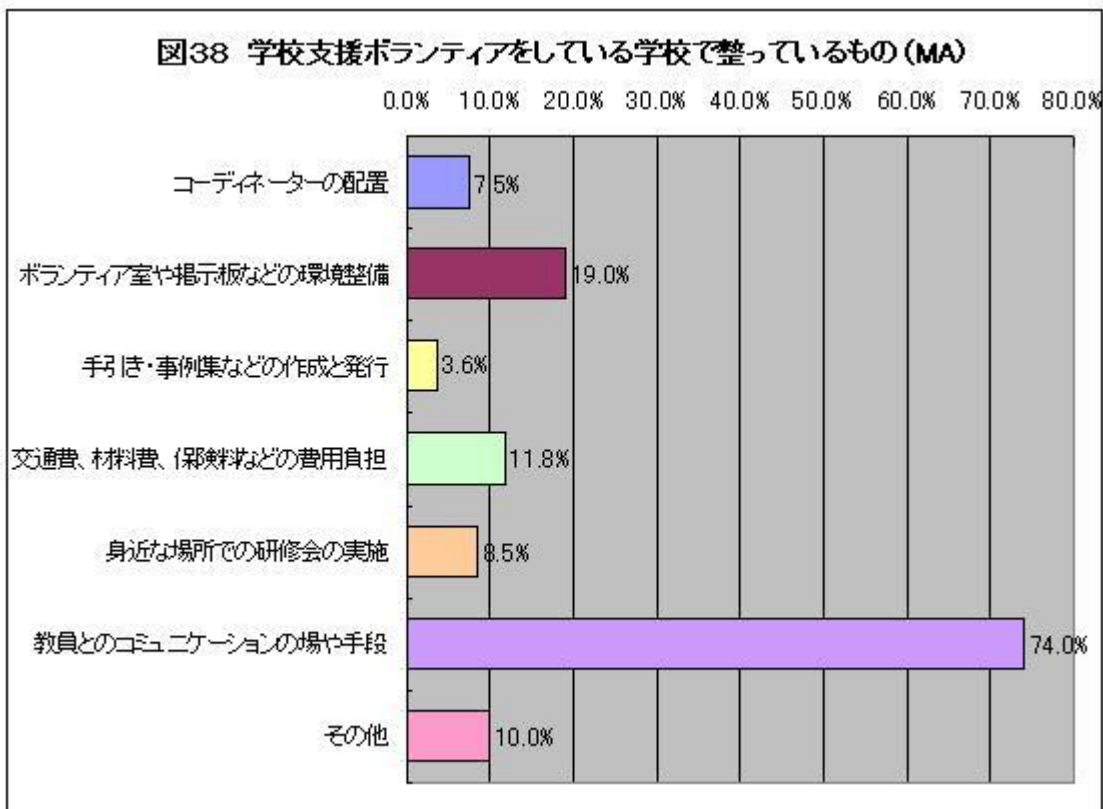
ボランティア保険は、「教育委員会で加入」が23.9%と最も多い。次いで「学校で加入」(15.2%)、「社会福祉協議会で加入」(8.5%)の順になっている。一方で40.1%が「加入していない」と回答している。

問 10 あなたの活動は、主として次のどれですか。



主な活動は、「学校から依頼された内容の活動だけしている」（42.9%）、「学校から依頼されたことだけでなく自分たちで提案した活動もしている」（34.2%）、「自分たちで活動内容を提案して学校の了解のもとで活動している」（21.3%）の順に多い。

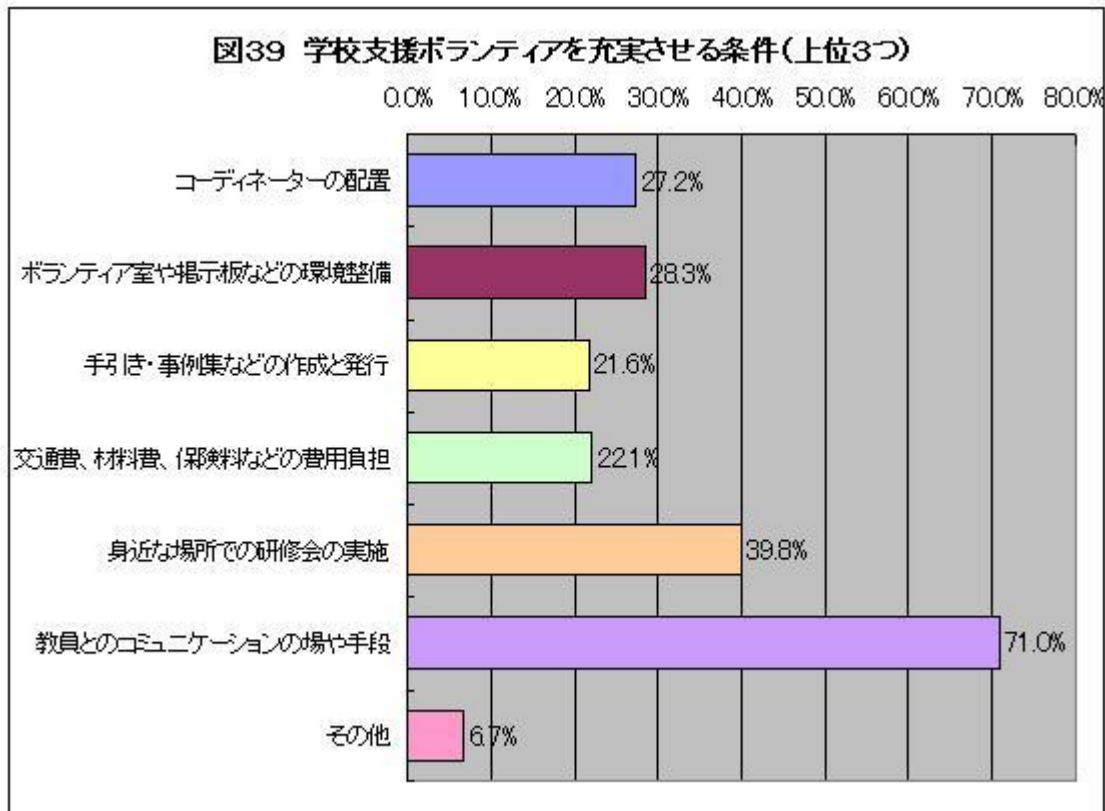
問 11 現在、学校支援ボランティアをしている学校で整っているものはどれですか。



学校で整っているものは、「教員とのコミュニケーションの場や手段」が74.0%と最も多い。次いで「ボランティア室や掲示板などの環境整備」（19.0%）、「交通費・材料費・保険料などの費用負担」（11.8%）となっている。

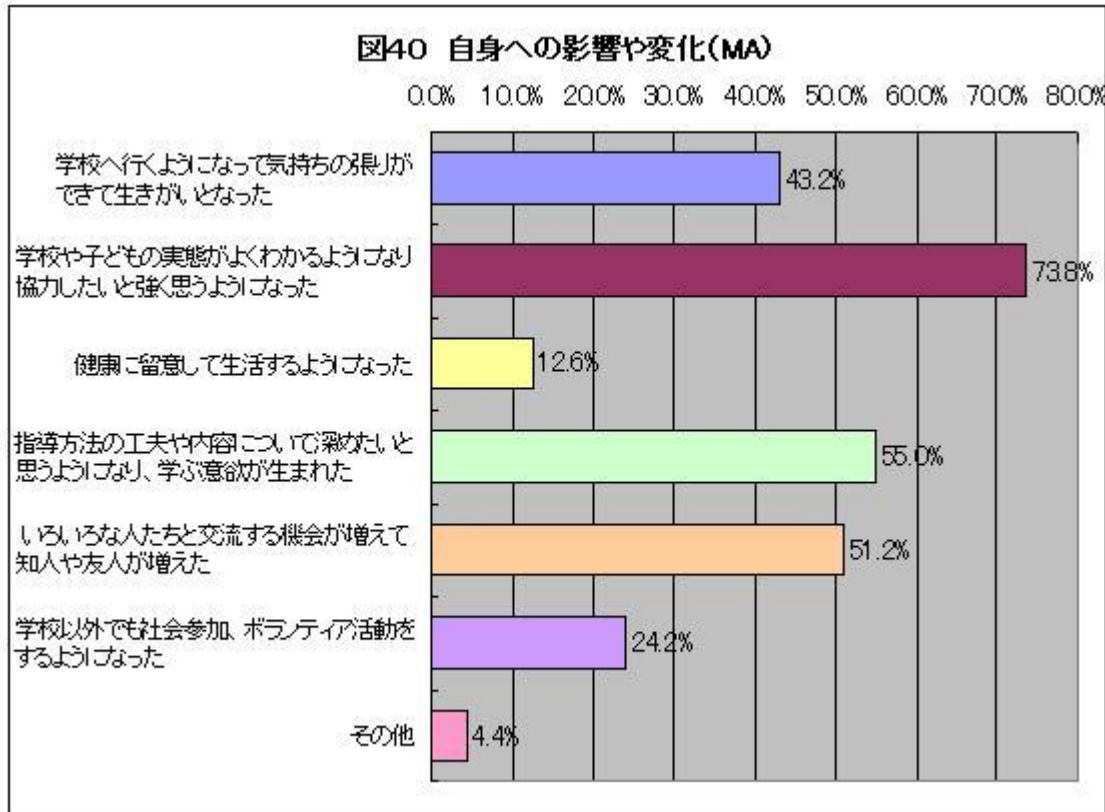


問 12 学校支援ボランティアを充実させるために必要な条件はどれだと思いますか。



充実させる条件は、「教員とのコミュニケーションの場や手段」が71.0%と最も多い。次いで「身近な場所での研修会の実施」(39.8%)、「ボランティア室や掲示板などの環境整備」(28.3%)、「コーディネーターの配置」(27.2%)の順になっている。

問 13 学校支援ボランティアをしてみて、ご自身への影響や変化についてお聞かせください。



自身への影響や変化は、「学校や子どもの実態がよくわかるようになり協力したいと強く思うようになった」が73.8%と最も多く7割を超えている。次いで「指導方法の工夫や内容について深めたいと思うようになり学ぶ意欲が生まれた」（55.0%）、「いろいろな人たちと交流する機会が増えて知人や友人が増えた」（51.2%）、「学校へ行くようになって気持ちの張りが出て生きがいとなった」（43.2%）の順になっている。